

# 災 救 通 信

平成29年  
7月1日  
第11号

発行

天理教  
災害救援  
ひのきしん隊  
北海道教区隊

逐次発行

宣誓  
我々は天理教災害救援ひのきしん  
隊員であります。一列兄弟の自覚に  
立ち、真実をもって救援活動にあた  
ります。

## 平 時 訓 練 事 前 作 業 開 始

本年度教区平時訓練を二ヶ月後に控え、作業計画及び内容打ち合わせを兼ね、6月21日北海道教務支庁の西側駐車場に於いて、事前作業を実施した。これは教務支庁舎北側のブロック塀が徐々にびっくりドンキーさん側へ傾き、倒壊の恐れが出てきたため、昨年頃より教区より相談を受けていた。そうしたことから、今年の訓練として塀の改修作業を行うこととなった。

午前8時、災救隊教区スタッフの今井副隊長をはじめ、今里副隊長補、奥村副隊長補(庶務)、教区渡部書記、齋藤書記等が作業を開始した。始めに塀際の作業に支障とならないよう除草作業や庭木の剪定などを行った。続いてコンクリートカッターや電動ピックを使用して、ブロック塀に切れ目を入れ解体の下準備を行った。そうして、いよいよコンマ2と呼ばれるバケットサイズ0.2立米の重機、バックホーを用いて解体が始められた。



まずは危険箇所を解体。

ブロック塀の高さは7、8段あり、ベースとなっている基礎部分と1メートルおきに基礎から出ている鉄筋を残して作業が進められた。順調に作業が進められ夕方には、傾きかけていた部分およそ20メートルが解体され作業を終えた。なお、7月3日には現場にてスタッフ会議が行われ訓練に望む予定である。



解体したブロックを集積し、整地を行う。

# 本部白川地区 山林整備

6月26日～27日災害隊本部主催の白川地区山林整備整備ひのきしんが行われ、6月の当番教区として北海道、奈良、京都、兵庫、大阪、徳島、高知、愛媛、香川、岡山、広島、山口の12教区72名が参加した。北海道からは俱知安、千恵広、室蘭、南空知、天龍の各隊長が1名ずつと教区隊庶務の6名が参加した。6月の親里は梅雨空の特有の天候が続くが、本部祭典後の午後2時、曇り空の下、結隊式が行われた。その後早速、3班に分かれて作業が開始されたが、今回の作業は主に白川管理棟周辺の歩道整備を実施した。道路の両側に背丈以上に伸びきった雑草や雑木を刈払い機や手ノコ、更には生垣バリカンを使って除草や手入れを行った。27日も順調に作業が進み、昼には無事解散式が行われ解散となった。午後からは解散を見計らってか、ポツポツと雨も降り出し梅雨のおちばの光景が広がった。



白川管理棟前での結隊式。



千恵広 鈴木隊長。

災害隊として独自の布教活動は実施していません。支部布教部に協力して活動しています。また、地域ひのきしん活動として、木材、樹木の切断作業などを行っています。

## 千恵広

鈴木栄隊長

参加隊長へのインタビュー  
『支部内での地域ひのきしん活動の推進や、各部との連携した布教活動の様子はどのよう  
な感じでしょうか?』



天龍 田中隊長。

## 天龍

田中直人 隊長

災救隊として10年程前より施設のひのきしんを青年会と共に、今年から婦人会の方々も参加いただくようになりました。また、家屋解体のひのきしんや冬季の除排雪は長年実施しています。布教活動も青年会等と協力して行きたいと思っています。



南空知 寺澤隊長。

## 南空知

寺澤信彦 隊長

南空知支部ではなんとと言っても、冬季平時訓練として実施しています、高齢者や独居入居者宅の除排雪ひのきしん活動が定着しています。社会福祉協議会と連携した活動ですので、こうしたことから天理教を理解いただき、布教の一端を担うことが出来たらと思っています。今のところ災救隊独自の布教活動は行っていません。



室蘭 加藤隊長。

## 室蘭

加藤三夫 隊長

室蘭支部隊は隊長交代をさせていただきました。交代したばかりで具体的な活動はこれから相談し計画していきたいと思っています。まずは支部活動に参加、協力をしていきたいと思っています。



俱知安 加藤隊長。

俱知安支部でも支部内の物置や小屋などの解体作業を行ってきました。布教に関しましては青年会との相談や連携を行って、活動したいと思っています。

## 俱知安

加藤道典 隊長



歩道脇を丁寧に整備。



今回の参加の各支部隊長。

**平 時 訓 練**  
**8月28日～30日**  
**教務支庁周辺整備ひのきしん**